



2019年10月31日

各位

会社名 ヤマトホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長尾 裕
 (コード番号：9064 東証第1部)
 問合せ先 上席執行役員 財務戦略担当 檜本 敦司
 (TEL. 03-3541-4141)

2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異
 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年7月31日に公表した2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて、2020年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異

(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	807,000	12,000	9,000	1,000	2円54銭
実績値 (B)	800,126	6,213	2,730	△3,459	△8円77銭
増減額 (B-A)	△6,874	△5,787	△6,270	△4,459	—
増減率 %	△0.9%	△48.2%	△69.7%	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	789,131	23,435	22,756	9,981	25円32銭

2. 2020年3月期通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,695,000	72,000	69,000	38,000	96円38銭
今回修正予想 (B)	1,670,000	62,000	59,000	32,000	81円16銭
増減額 (B-A)	△25,000	△10,000	△10,000	△6,000	—
増減率 %	△1.5%	△13.9%	△14.5%	△15.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,625,315	58,345	54,259	25,682	65円14銭

3. 業績予想値と実績値との差異および通期業績予想修正の理由

ヤマトグループは高品質なサービスを提供し続けるための経営基盤強化に向け、「働き方改革」を経営の中心に据え、3つの構造改革を柱とする中期経営計画「KAIKAKU2019 for NEXT100」に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、プライシングの適正化を継続的に推進したことにより、宅急便単価は想定を上回ったものの、大口法人顧客の取扱数量減少を主因とし、宅急便取扱数量が想定を下回ったことなどにより、営業収益は、前回予想を下回りました。その結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回りました。

通期の業績予想につきましては、デリバリー事業は、宅急便の取扱数量が前回予想を下回る見通しであること、ホームコンビニエンス事業は、個人のお客様向けに新たな単身者向け引越サービスの提供を開始したものの、その他の引越サービスの再開時期が未定であることなどを勘案し、前回予想（2019年7月31日発表）を修正することといたしました。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上